

## 1 学校教育目標

児童生徒が、個性を大切にしながら明るく元気に生活するとともに、自分の思いや考えを基に楽しく学び、身に付けた資質・能力を発揮して周りの人や地域、社会と豊かに関わりながら、自分の目標に向かって努力し、優しく美しい心情で自他を尊重する態度を高め、卒業後の自立と社会参加を図る。

## 2 本年度の努力目標

### (1) 経営活動の重点に対する行動計画

- ①本校教育の広報活動を充実し、学校の魅力を積極発信する。
- ②定期的にコンプライアンス研修やリスクに関する情報交換の場を設け、「不祥事0」、「交通事故0」、「ハラスメント0」に努める。
- ③PTAとの連携・強化を図り、業務や研修の充実に努める。
- ④中・高等部の一貫したキャリア教育推進を図るため組織連携を強化する。
- ⑤児童生徒にとって、心身共に安心・安全な学校運営の推進に努める。

### (2) 教育活動の重点に対する行動計画

- ①校内横断的な連携による校内研究を推進し、「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」の関連をもって効果的な作成の在り方を探る。
- ②「単元構成表」の検討と「学習計画表」の検証を継続しつつ、二つの側面からカリキュラム・マネジメントの質の向上を図る。
- ③知的障害のある児童生徒の「認知の(知る)過程」を研修し、実態把握の充実や授業改善につなげる。
- ④中・高等部の一貫したキャリア教育の工夫に努める。  
－中学生徒の高等部体験活動の重視、「みつめる力」を高める学習の工夫、キャリアパスポートに関する記録の工夫－
- ⑤「ながさきピース文化祭 2025」への参加協力等を通して、様々な文化・芸術に親しむ。

## 3 学校評価アンケート結果

### (1) 評価基準

4 :	<u>十分達成されている (よく当てはまる)</u>
	・ 目標に対して具体的方策が順調に進行しており、当初の成果が得られていると判断される状態
	・ 具体的方策を実施中であり、漸次その成果を検証しつつある状態
3 :	<u>おおむね達成されている (どちらかといえば当てはまる)</u>
	・ 改善に向けて共通理解をもち、具体的方策の実行に着手しつつある状態
	・ 改善の必要性に対して理解があり、具体的方策に対して取り組もうとしている状態
2 :	<u>どちらかという達成されていない (あまり当てはまらない)</u>
	・ 改善の方向性はもっているが、共通理解が十分ではなく全体として停滞している状態
	・ 改善の方向性を探っている状態
1 :	<u>ほとんど達成されていない (まったく当てはまらない)</u>
	・ 問題意識をもってはいるが、手つかずの状態
	・ 現状に満足し、問題意識にまで考えが及んでいない状態
/ :	わからない

## (2) 評価結果

		1 教育活動		2 教育環境			3 開かれた学校			4 職場環境・勤務体制		総計	
		R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6		
全部	教職員	3.5	—	3.5	3.3	↑	3.1	3.5	—	3.5	3.0	△	3.4
	保護者	3.6	↑	3.5	3.4	↑	3.3	3.5	↑	3.4		↑	3.4
小学部	教職員	3.3	—	3.3	3.2	↑	3.0	3.4	↑	3.3	2.9	—	3.2
	保護者	3.5	△	3.6	3.4	—	3.4	3.4	—	3.4		△	3.5
中学部	教職員	3.5	—	3.5	3.4	↑	3.2	3.5	—	3.5	3.3	—	3.4
	保護者	3.6	↑	3.4	3.3	↑	3.1	3.5	↑	3.3		↑	3.3
高等部	教職員	3.5	—	3.5	3.1	↑	3.0	3.4	—	3.4	2.8	△	3.3
	保護者	3.6	↑	3.5	3.5	↑	3.4	3.4	—	3.4		↑	3.4

↑：向上      △：下降      —：同値

全ての学部において、総合評価は保護者、教職員とも、3ポイント以上の高評価であった。4職場環境・勤務体制については、今年度新に設定した項目で、教職員のみ回答項目となっている。この項目のみ否定的評価が他の項目より多い結果であった。

## 4 結果の考察と今後の対応

### (1) 教育活動について

①4段階の平均値は、保護者、教職員とも差異はなく、3.5ポイント以上で全般的に高い評価を得ている。

#### ②保護者の評価について

- ・19項目中15項目が昨年度よりポイントが上がっている。他4項目についても昨年度と同値であることから、教育活動について、保護者にも理解していただいていると考える。
- ・一方で「14:いじめが起きにくい・いじめを許さない環境づくりに取り組んでいる」の項目については、保護者、教職員ともに3.6ポイント以上と高いものの、分からないと回答した保護者が129名中28名おり、全ての学部において分からないと回答した人数が一番多い項目であった。昨年度も本項目は、ポイントは高いが「2」や「1」といった否定的評価が複数見られた項目である。今年度の保護者の自由記述に「いじめを発生させないために取り組んでいることなどの発信をあまり聞いたことがない」といった記述があったことから人権研修や人権に関する授業の様子などについて、さらに発信するよう心掛けていきたい。
- ・「18:学校は、児童生徒の将来の夢や願いの実現に向けた情報を提供している」は、昨年度一番低い評価で、特に中学部が低いポイントであったが、今年度は中学部が3.5ポイントと一番高い評価で、改善が見られている。
- ・保護者の自由記述で最も多い記述は、「17:学校は、児童生徒の成長に合わせ将来を見通した進路指導をしている」に関することで、「子供の障害やその特性、状況及び環境など理解を深めてほしい」「料理や洗濯など、大人になっての生活のことの練習をしてほしい」「重度の生徒の現場実習への保護者送迎の難しさ」などについて記載があった。今年度は、進路指導部が中心となり、小学部や中学部の保護者にも呼びかけて、進路説明会や障害年金説明会など在校中や卒業後に必要な情報提供を行った。また、ホームページで研修会報告をするなど啓発活動を充実させた。今後は、啓発活動に加え、現場実習で出てきた反省を保護者と共有する工夫をするなどして、現段階で何ができるかについて保護者と共通理解のもと指導していきたい。

- ・次に多い記述は2項目で、「10: 教職員は、専門性をもって指導に取り組んでいる」と「16: 学校と家庭が必要な情報を共有し連携した体制になっている。」であった。項目10については、「研修内容の開示」「専門性に対する疑問を感じた」などの記述があった。これまでもホームページで研修の様子をお知らせしてきたが、さらに積極的に発信して教師が学び続けていることを理解してもらえる工夫をしていきたい。併せて、教職員も保護者に信頼してもらえるよう専門性を高める努力を継続していきたい。
- ・項目16については、事前の情報提供や情報共有の時期に関する要望であった。今後も保護者と連絡をこまめにとることを心掛けたい。

### ③教職員の評価について

- ・19項目中、高い評価の項目が、「14: いじめが起きにくい・いじめを許さない環境づくりに取り組んでいる。」の3.7ポイントと高等部のみの項目の「19: 学校は、現場実習や進路開拓（一般就労・福祉就労等）を十分に行っている。」の3.8であった。教職員が特に力を入れて指導をしていることが分かった。
- ・教職員の自由記述では、学校行事の時期の検討や実施方法に関すること個別の教育支援計画の活用や各教科の評価の観点に関する疑問があがっていた。年度初めに担当分掌から新着任者向けに説明会を実施しているが、参加希望者も参加可とするなどしてその必要性や活用方法等について説明するようにしたい。

## (2) 教育環境について

- ①4段階の平均値は、保護者で全項目3.4ポイント以上で全般的に高評価を得ている。教職員においても3ポイント以上で高評価であった。

### ②保護者の評価について

- ・全学部とも全項目で3.3ポイント以上と高評価であった。
- ・昨年度、「20: 学校は、安心・安全な施設・設備が整っている」の項目は、中学部と高等部でポイントが0.5ポイント程下がっていた項目で、中学部で3ポイント、高等部で3.2ポイントであったが、今年度は中学部で3.2ポイント、高等部で3.4ポイントと両学部ともポイントが上がっており改善が見られた。
- ・保護者の自由記述では、「体育館のトイレが綺麗になって欲しい」「学校の入り口がわかりづらい」「各教室の手洗い場、トイレや多目的トイレが古い」「汚れた物を洗う場所が各箇所に整備されていない」と設備に関する要望が多かった。予算との兼ね合いもある案件であるため、急な改善は難しい。危険箇所がないか安全点検を行い、古くても使用できるものは清潔を保ちながら安心安全な環境づくりに今後も取り組みたい。

### ③教職員の評価について

- ・全部が全項目で3ポイント以上と高評価であった。
- ・教職員の自由記述では、「個別指導やグループ別指導ができる部屋が少ない」「児童生徒が使用するすべての教室にエアコンがない」「洋式トイレが少ない。温度調整ができる便座ではない」という要望の記述があった。予算と児童生徒の教育に優先的に必要なものの両方の視点で検討したい。

## (3) 開かれた学校について

- ①4段階の平均値は、保護者、教職員とも差異はなく、3.5ポイント以上で全般的に高評価であった。

### ②保護者の評価について

- ・全学部とも全項目で3.4ポイント以上と高評価であった。
- ・本項目に関する自由記述は見られなかった。

### ③教職員の評価について

- ・全学部とも全項目で3.4ポイント以上と高評価であった。
- ・本項目に関する自由記述は見られなかった。

#### (4) 職場環境・勤務体制について

①今年度より新設した教職員を対象とした項目である。4段階の平均値は3ポイントと他の項目より低い。

- ・特に、「25: 業務の負担が公平で偏りが無い」の項目については、2.8ポイントと低い結果であった。学部別に見てみると小学部で2.8ポイント、中学部で3ポイント、高等部で2.6ポイントと高等部が一番低い結果であった。高等部においては「24: 勤務時間や業務量の適正化が図られている」の項目においても2.8ポイントと低い結果であった。

自由記述には、「業務が一部の人に偏っている」という記述が見られた。各学部の体制や本校勤務歴など様々な配慮やミドル層教員に対する期待から、今年度は、高等部に分掌主任が多い現状があった。次年度以降、各学部の体制などを考慮しながらできるだけバランスよい配置ができればと思う。

- ・自由記述では、各学部から記述があった。「行事の開催時期」「提出物作成やその訂正に対する負担感」「業務量に対する負担感」などが記入されていた。行事については、児童生徒の学びを一番に考え、開催時期や方法で改善できる部分の検討を行いたい。また、提出物や業務量に関する負担感については、うまくできている部などから方法を聞いたり、アイデアを出し合ったりして改善方法を皆で考えていきたい。

#### 5 総括

評価の総計は、保護者が3.5ポイント、教職員が3.3ポイントで昨年度とほぼ同値の結果であり、どちらも高評価であることから、教育活動等について一定の理解が得られ、学校目標をおおむね達成できたと考える。特に、開かれた学校については、保護者、教職員とも3.5ポイントで全般的に高評価であったことから今後も今年度同様、地域の方との交流やPTA活動、情報発信などを積極的に行っていきたい。

一方で、高評価であるものの項目によっては「/：わからない」を選択した方が多い項目もあることから、各質問項目について本校の重点目標が評価できるものになっているか、保護者が回答しやすい表現になっているかといった検討が必要であると考えます。

また、職場環境・勤務体制については、教職員が働きがいを感じながら教育活動を行うことができるように、皆で知恵を出し合いながら改善していきたい。

#### 6 学校関係者からの助言

##### (1) 自己評価の結果と改善策について

○細かく、丁寧に反省、分析がなされている。

##### (2) 学校運営の改善に向けた実際の取り組みについて

○教育活動について

- ・子供たちのアンケートで、「学校が楽しい」と回答した子供が多くよいと思う。
- ・校外での体験学習には教室内の机上学習だけでは学べないものが多く、理解も深まると思うのでぜひ継続してほしい。
- ・問題行動はあると思うが、その後の報告や相談を保護者に対して適切にされている。今後も継続してほしい。
- ・高等部は、生徒自身が卒業後の生活に向けて障害福祉の制度やサービス、その窓口について知っておくことは大切である。そういう学びの機会の確保をしてほしい。
- ・高等部生徒自身が自らに対する合理的配慮を職場などで発信できるようにしておくことも重要と思う。

○教育環境について

- ・中高生になると、悩みを抱える子供はどの学校でも多い。教室に入るのが難しい場合、しばらく別室で過ごすなど対応できる体制ができるとよい。

- ・イラストやカード等を用いて指導の工夫がなされているようだが、学年や担任が変わることでイラストやカードが変わり、子供が戸惑うことがある。校内で図書室や体育館などの表示などを統一したものにすることで子供も分かりやすくなるのではないだろうか。
- ・学習の成果物が掲示がされることで、担任だけでなく日常関わりが少ない教員から褒められ、それがまた意欲につながるのによいと思う。今後も積極的に掲示してほしい。

○開かれた学校について

- ・地域には、今年も高等部の生徒に来てもらったが、昨年比べて始まりが少し遅かった。6月までに話し合いを始められたら、生徒が卒業するまでに充実した取組がもっとできるのではないか。
- ・今年小学部との「昔の遊び」が実現でき、自治会のみんが喜んでいて、またお願いしたい。

○職場環境・勤務体制について

- ・小学部では、指導体制が厳しい時もあったが、他学部から協力があつたとのこと。学校全体で協力するという姿勢を今後も続けてほしい。
- ・校内の表示を統一することで、毎年、教材を作る必要もなくなるため教員が子供に向き合う時間が確保できるのではないか。しっかり共有されるとよいと思う。